

3連動地震に備え議連

東海・東南海・南海の3連動地震に備え、徳島など関係9県の自民党国会議員有志が21日、「連動型地震による超広域災害への備えを進める議員連盟」を設立した。

3連動地震で大規模な被害が予想される静岡〜宮崎の太平洋沿岸9県の関係議員が連携。被害を最小限に抑えるための政策提言や防災対策をまとめ、政府に実現を求めていく。既に発足している「9県知事会議」とも一体化した取り組みを進める方針。

この日、党本部で設立総会があり、衆参14議員が出席。一階俊博

へ言提策対災防に国

元経済産業相（和歌山3区）が会長、中谷元・元防衛庁長官（高知2区）が幹事長になった。

徳島県関係の後藤田正純、山口俊一両衆院議員と中西祐介、中村博彦両参院議員の全議員は、既に参加または参加予定。

議連発起人の後藤田氏は「東日本大震災の被災地復興に取り組むのは当然だが、同時に3連動地震への対策は重要だ。政府には早急な取り組みを求めていきたい」と話している。3連動地震をめぐっては、9県の県議会議長も27日、同様の会議を設立する。（武田浩文）